

年頭所感

難関が明日の成田をカづけ



成田市長
小川 国彦



新駅設置の夢に向かって開発が進む土屋地域

新年おめでとうございます。

「ことし、平成15年（2003年）は干支で羊の年です。

羊の性格は、温順でよく群れるといえます。

また、「群羊を駆って猛虎を攻む」という故事があるように、羊は一頭一頭ではなく、まとまって相手に対し力を発揮するといわれています。

「ことし、たくさん課題を抱えた成田市政にとって、羊のように団結して目的を達成することがさまざまな場面で想定されます。

それは、ときには国に対する自治体の姿であり、

ときには市町村合併を目指す姿にも似ています。

難関の むこう豊かな 成田待っ

成田市政は、いま六つの主要な課題をもっています。

一つ目は、「成田空港の完全化と民営化」です。

昨年は、4月18日に成田空港問題によって「第二の関門」ともいふべき、成田市の長年の悲願でありました本目の滑走路が、暫定滑走路として供用開

始されました。その結果、一昨年9月の米国同時多発テロの影響により落ち込んだ空港の利用客も回復し、従来の1.5倍、3、400万人を目指しています。

また、本来計画であります2、500m平行滑走路の早期整備や空港機能の拡大を図り、日本の空の玄関、首都圏の国際拠点空港としての地位の確立、空港の立地を生かした地域振興や国際空港都市としてのまちづくりの促進が求められています。

特に、成田市にとっては、これまでの空港公団の組織が株式会社として民営化されるに当たり、空港圏の自治体として取り組むべき緊急の課題があります。

す。

昨年、成田市は空港圏の自治体のリーダーとして、新東京国際空港の名称を案体に合わせた「成田空港」と呼ぶことを提案し、それが具体化しつつあります。また、成田空港の騒音対策や環境対策、地域振興策などを民営化法の中できちんと位置付けをし、法制化することを求めています。

民営化は国の構造改革という大きな流れの中にあります。民営化しても、空港との共生といわれてきた地域が、共生にふさわしい地域づくりや都市づくりができるよう、成田市が先頭に立って、空港周辺の自治体と共につかり取り組んでいきたいと思えます。

二つ目は、「成田新高速鉄道の事業促進と駅づくり・まちづくり」です。

成田新高速鉄道は、成田空港と東京都心とを30分台で結び、空港アクセスとして、また沿線地域の振興に大きな意義を有する鉄道です。ことしも引き続き、早期開業に向け事業の推進にまい進することにも、「ニュータウン北駅」の整備、「土屋新駅」の設置の実現に向け、関係機関との協議を進めてまいります。

特に土屋駅は、単に土屋地域の駅というだけではなく、成田市の中心部に位置すること、また中郷・久住・豊住地区や遠山・八生地区の一部にとっても地域発展の核となる駅であり、この駅を、国際交流や国際物流の拠点となる駅にしたいという夢をもっています。

さらに、千葉ニュータウンから成田に延長される北千葉道路や空港圏環状道路、放射状道路について

も、空港周辺の利便や渋滞解消、地域振興のために推進を図ってまいります。

三つ目は、「市町村合併」です。

市町村合併につきましては、住民の生活圏の広がりや地方分権の進展の中で、個性豊かなまちづくりを推進するための行財政基盤強化の必要性などを背景に、全国的に活発な動きがあります。

本市も昨年12月に成田市、富里市、栄町、下総町、神崎町、大栄町、栗源町、多古町、芝山町、横芝町の空港周辺10市町による任意合併検討協議会を設立し、合併について協議を進めております。

市町村合併は、成田市にとりましても、地域の将来に関わる重要課題でありますので、市民の皆さまのご意見や議会の意向に沿って、関係市町との間で十分な協議を重ねてまいります。

四つ目は、「国際観光都市づくり」であります。

長年の懸案であります駅前再開発については、「R、京成、千葉交通の理解を得て、駅前1.4haの再開発事業を着々と進めており、ことしは交通安全対策の面からも、暫定歩道をJRと京成面駅間に設置することにも、SLを中心とした栗山公園の整備、さらに平成16年の祇園祭までには花崎町、上町地区の電線の地中化を実現し、表参道のセットバックとともに電柱のない100年前の門前通りの実現を図ってまいります。

五つ目は、「福祉医療行政の拡充」であります。

ことしは、昨年開館しました保健福祉館にマザーズルームを移設オープンし、さらに昨年より休日のみの開所から毎日とした夜間急病診療所を新たに建設し、小児をはじめ一次救急医療体制の充実を図つ

てまいります。

また、子育て支援にあつては、昨年開設した本城成田など七つの児童ホームに、本年は加良部児童ホームを建設し、さらなる充実を図ってまいります。六つ目は、「教育の充実」であります。

成田市100年の礎は教育にあります。現在の若者や子どもたち、そして私たちの孫たちの力が将来の成田市を支える大きな柱となるものであります。

そこで、これまで力を入れてきました少人数学習推進教員・健康推進教員、学校図書館司書の充実を図るとともに、さらに国際空港都市にふさわしい小学校からの英語教育を推進してまいります。

また、成田市は「構造改革特区」として教育面において、成田の特性を生かした施策を推進することが可能な地域と位置付けられました。この制度を活用して、成田市にとって大きな発展の希望と夢を実現したいと考えております。

あれこれの 課題へファイト 出す成田

本年も、わが郷土成田が、先人たちの志を継いで「成田は素晴らしい都市だ」と、世界にそして国内に向かって胸を張って誇れるまちとしますます発展するよう、それぞれの課題に向けて、ファイトを燃やしてまいりますと存じます。市民の皆さまの一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

この一年が成田市にとって市民の皆さまにとって最も良き年でありませう、皆さまの活躍とご多幸をお祈りし、新年のあいさついたします。